

船釣り

各地で活況

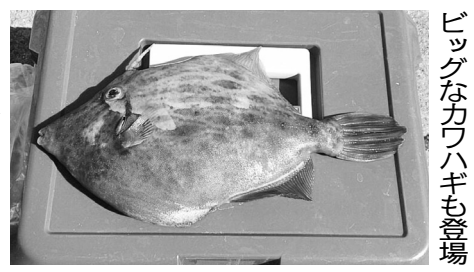
釣友とカワハギ大会に参戦



本命のカワハギをキャッチ



皆でワイワイ釣りを楽しんだ



ビッグなカワハギも登場

10月19日、兵庫県の明石浦発・丸松乗合船にて、アシスト工房主催のカワハギ大会第一回が開催された。

私は友人3人を誘い、女性4人で釣行。私以外アサリをザルにエサの準備。意図的があるがカワハギは初めて。主催者の和田さんはヒギナークラスも大歓迎のことだったので、気軽に参加した。

午前5時過ぎ、受付に到着したころにはたくさんの参加者が見えた。浸けて身を締めたり、塩で締めたりと様々。

兵庫・明石浦出船

6時出船。まずは淡路沖の近場で様子を見る。私のタックルはカワハギ専用ザオ8・2、リールはバルケッタ300HG、PE0.8号、仕掛けは「男のカワハギ仕掛け」3本バリ4号、集魚オモリ30号。カワハギ釣りは、ハリ先が必ず上を向き、最低でも3匹釣れたらハリを新しい物に交換するのが釣果アップの鉄則。エサはマルキューの「くわせ生アサリ」で船

船中夕チウオ好釣で大賑わい

イチバン・エイトグループ主催 船夕チウオイベント

10月23日(金曜日)、大阪・泉佐野から出港する船にお世話になり、毎く終始夕チウオが出続ける年恒例となっているイチバン・エイトグループ主催の「大阪湾夕チウオ船釣」無料招待イベントを開催した。

午前5時30分という早朝にもかかわらず、参加者の方々に集まっていた。台風の影響で開催自体が危ぶまれていたが、当日は天候に恵まれ、釣日和の一日となった。

朝一は、釣座でアタリの出方がついていて、ロッド、リール、探見

大阪・泉佐野出船



当日は釣日和、釣果にも恵まれ、イベントは大いに盛り上がった

釣りの初心者だったが、船長の釣方をレクチャーしてもらい、夕チウオを釣ることができた。特であった。私は夕チウオのテナヤだ。誘い方次第で釣果に大いかにその群れに合った誘い方をするかが、夕チウオ釣りのコツなのだろう。この日は午後1時に帰港。帰港してからは、閉会式やじゃんけん大会などをやった。2つの台風の影響により開催自体が危ぶまれていた中で、天気にも釣果にも恵まれ、無事大会を終了することができた。

誘い方次第で釣果に大いかにその群れに合った誘い方をするかが、夕チウオ釣りのコツなのだろう。この日は午後1時に帰港。帰港してからは、閉会式やじゃんけん大会などをやった。2つの台風の影響により開催自体が危ぶまれていた中で、天気にも釣果にも恵まれ、無事大会を終了することができた。

私は数回カワハギ釣りの経験があるが、友人3人はまったくの初めて。和田さんにレクチャーをお願いすると、見本を見せると、ウマツラハギをキヤッチ。一方、私とちさきさんは「激活性が高いときは「激活性が低い中、「フワフワ釣法」でキャッチ

「フワフワ釣法」でキャッチ。活性が高いときは「激活性が低い中、「フワフワ釣法」でキャッチ

「フワフワ釣法」でキャッチ。活性が高いときは「激活性が低い中、「フワフワ釣法」でキャッチ

「フワフワ釣法」でキャッチ。活性が高いときは「激活性が低い中、「フワフワ釣法」でキャッチ

「フワフワ釣法」でキャッチ。活性が高いときは「激活性が低い中、「フワフワ釣法」でキャッチ